

平成20年9月26日
筑波大学

陽子線医学利用研究センターにおける陽子線治療の「先進医療」届出について

このたび、筑波大学附属病院では、陽子線医学利用研究センター（以下「陽子線センター」）における陽子線治療を「先進医療」として厚生労働省へ届出を行い、患者様の治療を本格的に開始いたしました。

陽子線は、体に入るとある一定の深さで完全に止まり、そのときに大きなエネルギーが減少し、狙った病巣に集中して照射ができ、従来のX線治療よりも副作用が少なく、手術よりも体への負担が少ない新しい放射線治療方法として注目を集めております。

陽子線センターでは、全国に先駆けて1983年（昭和58年）から高エネルギー加速器機構の施設を使用し、陽子線治療の臨床研究を行ってきました。その成果を受けて現在の施設を2001年（平成13年）に本学附属病院に隣接して医療専用の装置として整備し、陽子線の本格的臨床研究を行ってまいりました。このたび、患者のQOLの観点から「身体に優しい切らずに治すがん治療」について、その臨床的有効性が確認されましたので、「先進医療」の届出を行いました。

今後、全国の大学附属病院で唯一の陽子線治療施設として、様々な疾患において陽子線の有効性を実証するための臨床研究をさらに充実させて、新たな疾患への適応拡大など大学病院ならではの医療への貢献をめざしていきます。また、国内の一般病院などでも陽子線施設の導入が進められている中で陽子線治療の人材養成や研究の拠点としての役割を担っていきたいと考えております。

今回の届出を機に、より質の高い医療、質の高いサービスを患者様に提供してまいります。

なお、陽子線センターの概要及び陽子線治療に関する説明を報道関係の皆様に対し以下のとおり行いますのでご参加ください。

- 先進医療開始日 : 平成20年8月1日（治療開始は8月19日から）
- 陽子線治療費 : 2,484,000円（部位別 定額制）

- 陽子線医学利用研究センター見学・説明会
 - 日時 : 平成20年10月8日（水） 午後5時～
 - 場所 : 陽子線医学利用研究センター 3階 カンファレンス室
 - 内容 : 陽子線治療に関する説明及び治療機器等の見学
（シンクロトロン、回転ガントリーなど）

問合せ先：筑波大学病院総務部総務課（企画広報）
